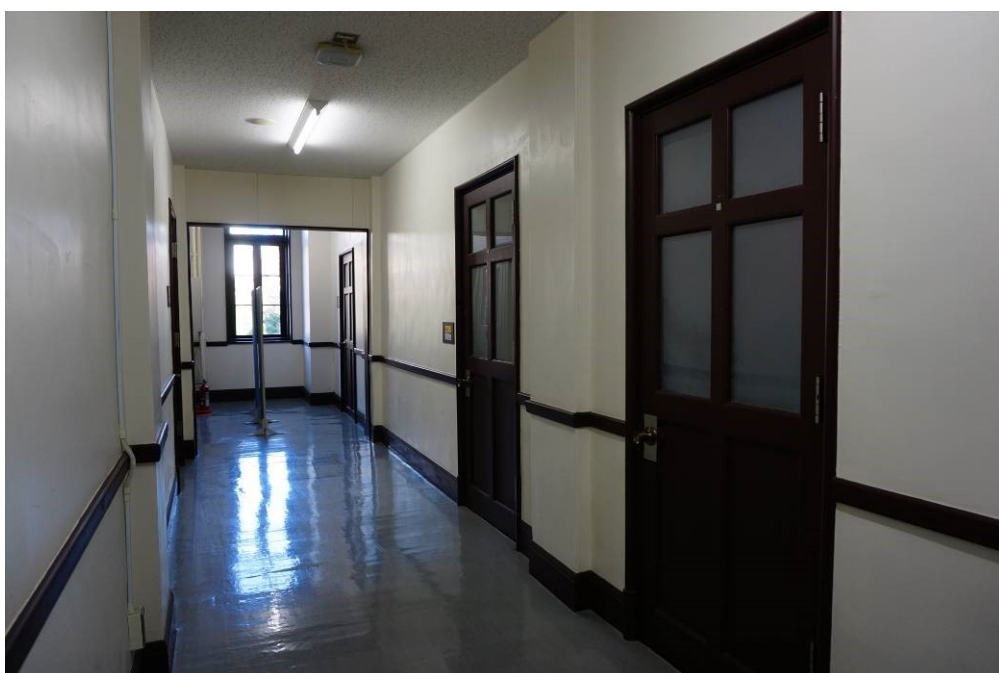


【新登録有形文化財（建造物）に関する説明資料】

名 称	きゅうとうほくていこくだいがくりがくぶせいぶつがくきょうしつ 旧東北帝国大学理学部生物学教室
年 代	大正13（1924）年／平成7年・令和元年改修
登録基準	二 造形の規範となっているもの
特徴など	鋭角な敷地にV字形平面を持つ鉄筋コンクリート造三階建て校舎。V字の頂点は円筒形の壁を立ち上げる。平面は片廊下式で研究室、講義室等を配置する。プロポーションと細部装飾にバランスが取れた逸品である。



名 称	きゅうとうほくていこくだいがくほうぶんがくぶだいにけんきゅうしつ 旧東北帝国大学法文学部第二研究室
年 代	昭和2（1927）年／平成16年改修
登録基準	二 造形の規範となっているもの
特徴など	鉄筋コンクリート造三階建て校舎。正面中央を張出して玄関を設け、頂部に切妻破風 ^{きりづまはふ} を掲げ、アーチ窓、縦長窓を縦に並べ、間にレンガタイルを矢筈 ^{やはず} に貼る。窓枠をレンガで縁取るなどアクセントを付けた愛らしい校舎である。



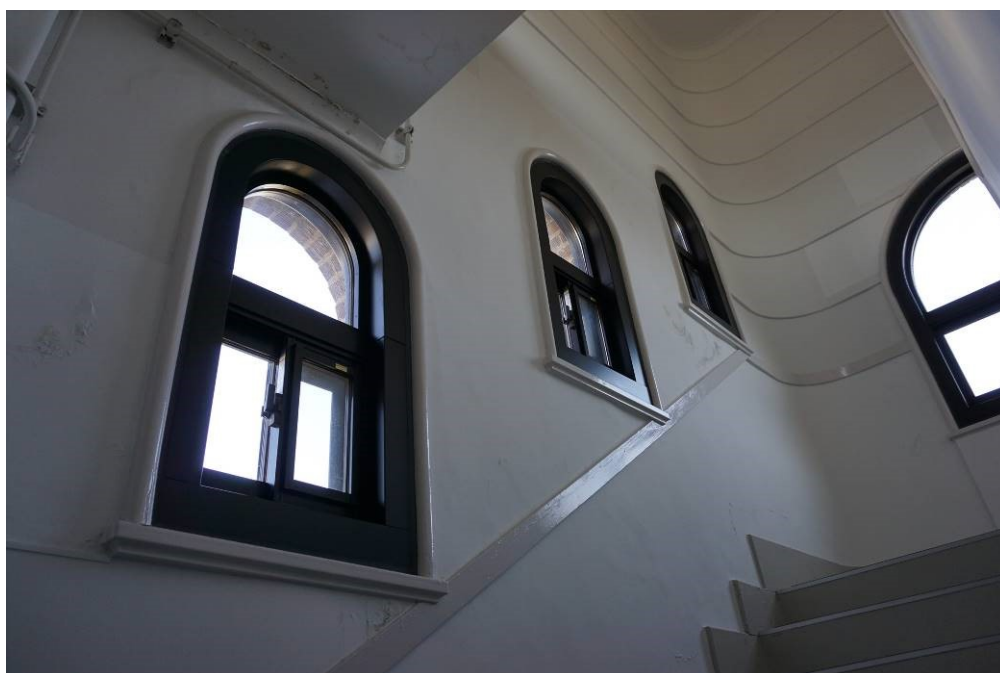
名 称	きゅうとうほくていこくだいがくこうがくぶきかいがく <small>でんきがくきょうしつ</small> 旧 東 北 帝 国 大 学 工 学 部 機 械 学 及 び 電 気 学 教 室
年 代	昭和5（1930）年／平成19年改修
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴・評価	鉄筋コンクリート造地上三階て、地下一階建ての校舎。L字型平面の中廊下式であり、階段ホールを吹き抜けとする。正面中央は玄関を突出させアーチを付し、外壁を石張りとして塔屋を掲げ、装飾を集中させて意匠を凝らす。



名 称	きゅうとうほくていこくだいがくこうがくぶきかいがく でんきがくじっけんしつ 旧 東 北 帝 国 大 学 工 学 部 機 械 学 及 び 電 気 学 実 験 室
年 代	昭和4（1929）年／平成25年改修
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴など	鉄筋コンクリート造二階建ての校舎。平面は四角形の中廊下式で、教室を並べる。ステンドグラスを掲げた玄関と階段を中央に配する。教室校舎と同様、上下二層の色遣いが目立ち、意匠平明である。



名 称	きゅうせんだいこうとうこうぎょうがっこうけんちくがっこう 旧 仙 台 高 等 工 業 学 校 建 築 学 科 棟
年 代	昭和5（1930）年／平成26年改修
登録基準	二 造形の規範となっているもの
特徴など	鉄筋コンクリート造三階建て校舎。スクラッチタイル貼りに横長の連続窓を開け、壁面を張り出す外観は、当時の前衛芸術運動・バウハウスの影響が感じられる。ヴォールトの通路を通し、アーチにSKKの学章を付す。前衛的な意匠が印象的な校舎である。
補 足	仙台高等工業学校は、明治40（1907）年開校の高等教育機関で、建築学科は昭和5年に新設された。同24年に東北大学工学部に合併され、同26年3月に廃校となった。



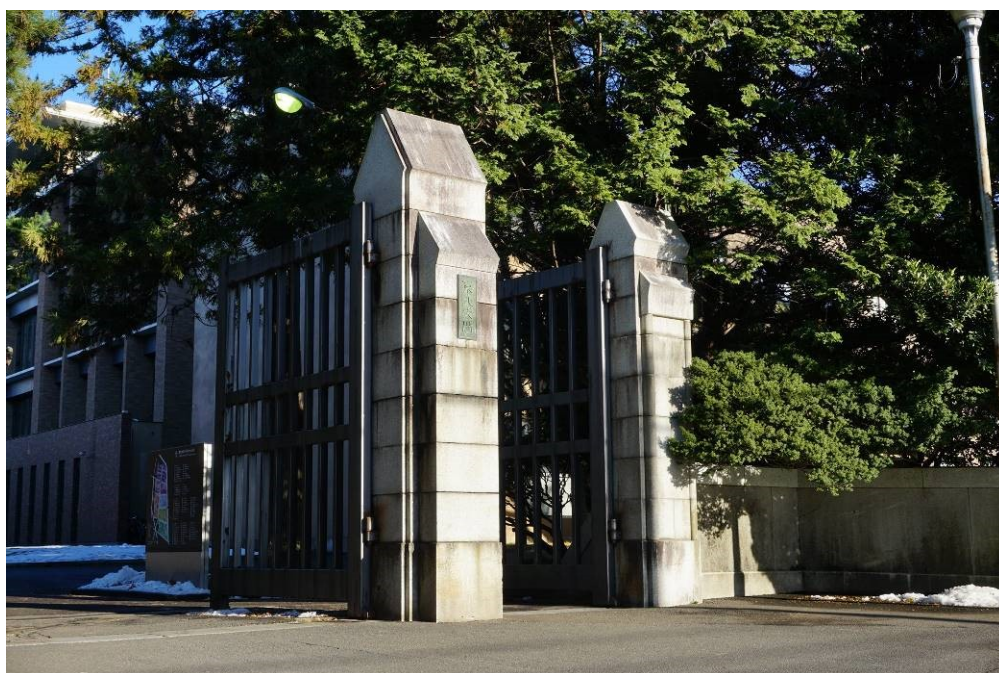
名 称	ほんだきねんかん 本多記念館
年 代	昭和16（1941）年／平成6年改修
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴など	鉄筋コンクリート造地上三階地下一階建て。柱形を強調したタイル貼りの外壁に四角形窓を並べる。装飾的な要素はほぼ持たないが、玄関車寄せから前方に張り出す大キャノピーは目を引く。明快な意匠が時代相を表す。
補 足	東北帝国大学第6代総長・本多光太郎の在職25周年に当たり、その功績を記念して建設されたもの。本多光太郎は、金属材料研究所の初代所長を務め、当時の鉄鋼研究に関する第一人者であった。



名 称	きゅうせいだいにこうとうがっこうせいもん 旧制第二高等学校正門
年 代	明治22年(1889)頃/昭和11年・同20年・同25年・同43年、 平成8年移築
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴など	東北大学正門から南約100メートルに所在する門。旧制第二高等学校校舎とともに設計された。化粧レンガ積み角柱の上部に四角錐の笠石を載せる、間口4.4メートルの門柱2基。同形で一回り小さい脇門柱2基が立つ。移転を重ねたが、当初位置近くに旧観を取り戻した。
補 足	旧制第二高等学校は、第二高等中学校として、明治20年に設立された高等教育機関である。大正14年(1925)まで片平地区の北西部に所在し、北六番丁、三神峯と移転した後、昭和25年に廃校となった。



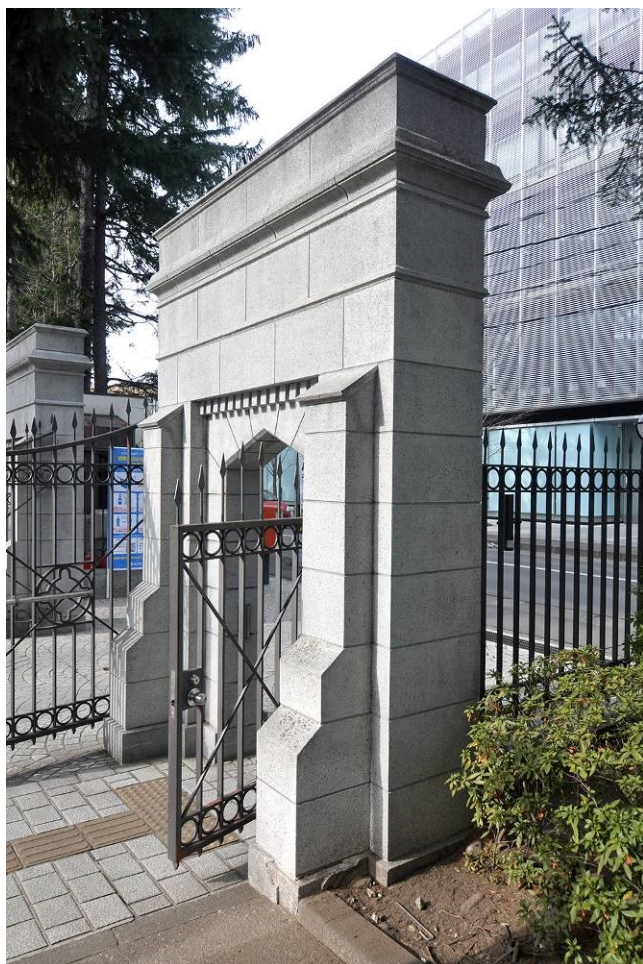
名 称	きゅうとうほくていこくだいがくせいもん とうほくだいがくせいもん 旧 東北帝国大学正門（東北大学正門）
年 代	大正15（1926）年／昭和40年代年改修
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴など	東北大学片平キャンパス西面に所在する門。鉄筋コンクリート造御影石貼りの角柱に、ペン先状の三角形の柱頭を載せ、前後に柱形を付す。間口6.3メートルの門柱2基であり、同形式で縮小した脇柱を両脇に立てる。帝大の景観をとどめる門柱である。



名 称	とうほくがくいんだいがくせいもん 東北学院大学正門
年 代	大正15（1926）年／昭和60年改修
登録基準	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
特徴など	校地北辺中央に位置する。三角アーチの脇門2基を一对とした正門。鉄筋コンクリート造洗出に目地切りで石張りに見せる。間口4.2m。脇門はコーニス（帯状装飾）やデンティル（歯形模様）で飾り、TGの文字と十字架を組み合わせた校章を付す。歴史ある私学の表構えを形成している。



（撮影：東北学院大学 崎山俊雄）



（撮影：東北学院大学 崎山俊雄）